

授業科目名	開講年次	開講学期	講義種類	単位数	担当教員名
図画工作	1	前期	演習	1	丸田 多賀美 / 森吉里奈
○授業の到達目標					
<p>到着目標</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 素材の特徴を理解し、基礎的な表現技法を習得する。 2. 立体表現や色彩表現の多様性を理解し、子どもの感性から学ぶ造形表現の良さを感じ取る。 					
○授業の概要					
<p>保育者として必要な美術および幼児造形教育の原理を理解させるとともに、美術を愛好する精神を養い、幼児造形教育の歴史や幼児の造形能力の発達段階を把握させ、幼児造形表現の指導に必要な基礎技能を習得させる。</p>					
○授業計画					
<p>第1回 オリエンテーション 図工演習の内容を理解する。造形教育への理解を深める。 【事前学修】 シラバスを確認して授業の概要等を確認する。 【事後学修】 授業で取り扱った内容を見直しノート等にまとめる。配布された資料、画材に記名し保管する。</p>					
<p>第6回 マスキングテープアート① テーマを各自で設定し、下絵をつくる。(主題設定) 【事前学修】 必要な材料、資料を用意する。 【事後学修】 授業で取り扱った内容を見直しノート等にまとめる。配布された資料を保管し、次回に必要な材料、資料を集める。</p>					
<p>第5回 マスキングテープアート② 集めたテープや材料を貼り重ねて作品を進める。 【事前学修】 必要な材料、資料を用意する。 【事後学修】 授業で取り扱った内容を見直しノート等にまとめる。配布された資料を保管し、次回に必要な材料、資料を集める。</p>					
<p>第4回 マスキングテープアート③ 集めたテープや材料を貼り重ねて作品を進める。 【事前学修】 必要な材料、資料を用意する。 【事後学修】 授業で取り扱った内容を見直しノート等にまとめる。配布された資料を保管し、次回に必要な材料、資料を集める。</p>					
<p>第5回 マスキングテープアート④ 作品を仕上げ、相互に鑑賞する。 【事前学修】 必要な材料、資料を用意する。 【事後学修】 授業で取り扱った内容を見直しノート等にまとめる。配布された資料を保管し、次回に必要な材料、資料を集める。</p>					
<p>第6回 壁掛け人形① 人形制作の過程の理解と準備。(構想設定)</p>					

【事前学修】 必要な材料、資料を用意する。

【事後学修】 授業で取り扱った内容を見直しノート等にまとめる。配布された資料を保管し、次回に必要な材料、資料を集める。

第7回 壁掛け人形② 芯棒を製作し、粘土をつけて粗付けする。

【事前学修】 必要な材料、資料を用意する。

【事後学修】 授業で取り扱った内容を見直しノート等にまとめる。配布された資料を保管し、次回に必要な材料、資料を集める。

第8回 壁掛け人形③ 構想に合わせて制作を進める。

【事前学修】 必要な材料、資料を用意する。

【事後学修】 授業で取り扱った内容を見直しノート等にまとめる。配布された資料を保管し、次回に必要な材料、資料を集める。

第9回 壁掛け人形④ 構想に合わせて制作を進める。彩色し、作品を仕上げる。

【事前学修】 必要な材料、資料を用意する。

【事後学修】 授業で取り扱った内容を見直しノート等にまとめる。配布された資料を保管し、次回に必要な材料、資料を集める。

第10回 壁掛け人形⑤ 彩色し、作品を仕上げる。

【事前学修】 必要な材料、資料を用意する。

【事後学修】 授業で取り扱った内容を見直しノート等にまとめる。配布された資料を保管し、次回に必要な材料、資料を集める。

第11回 飛び出すカード① 飛び出すカードの仕組みを理解し試作する。

【事前学修】 必要な材料、資料を用意する。

【事後学修】 授業で取り扱った内容を見直しノート等にまとめる。配布された資料を保管し、次回に必要な材料、資料を集める。

第12回 飛び出すカード② 飛び出すカードの仕組みを理解し試作する。

【事前学修】 必要な材料、資料を用意する。

【事後学修】 授業で取り扱った内容を見直しノート等にまとめる。配布された資料を保管し、次回に必要な材料、資料を集める。

第13回 飛び出すカード③ 構想に従って製作する。（機構と美の調和）

【事前学修】 必要な材料、資料を用意する。

【事後学修】 授業で取り扱った内容を見直しノート等にまとめる。配布された資料を保管し、次回に必要な材料、資料を集める。

第14回 飛び出すカード④ 作品を仕上げる。

【事前学修】必要な材料、資料を用意する。

【事後学修】授業で取り扱った内容を見直しノート等にまとめる。配布された資料を保管し、次回に必要な材料、資料を集める。

第15回 鑑賞 表現のいろいろ（教科書）と幼児教育への取り入れ方

【事前学修】必要な材料、資料を用意する。

【事後学修】授業で取り扱った内容を見直しノート等にまとめる。配布された資料を保管し、試験範囲を復習する。

○教員の実務経験と授業の関連

造形教育特別講師として複数の保育現場で造形教室を開いた経験を活かし、子どもたちが安全で楽しく自主的に造形表現に取り組める環境づくりや技法について教授する。

○テキスト

幼児造形の基礎「乳幼児の造形表現と造形教材」 樋口一成編著、萌文書林

○参考書・参考資料等

「幼稚園教育要領解説」（最新版）文部科学省、フレーベル館

「保育所保育指針解説」（最新版）厚生労働省、フレーベル館

「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」（最新版）内閣府・文部科学省・厚生労働省、フレーベル館

○学生に対する評価

提出物 50% 試験 40% 授業への意欲、態度 10%